

「いろいろな国のことばを話してみよう！」

ことば 総合（国際理解・キャリア） 学級

講師 ヒッポファミリークラブ 会員の方

- ① CDを聞きながら世界の歌にあわせてゲームをし、様々な国の挨拶や言い回しができるフレーズ、よく使われる言葉を話してみる。
- ② 7カ国（イタリア、スウェーデン、韓国、ドイツ、マレー、ポルトガル、トルコ）の言葉を通してものの広がり、世界のどこの国の人ともコミュニケーションが図ることにより、ものの見方が広がり、自分自身の新たな可能性を見つける。
- ③ 今回は、韓国からのインターン生によるプレゼンテーションにより、学校生活や日常生活の日本と韓国の違いなどを分かり易く解説



【児童の感想文から】

- ・私は始め、ヒッポファミリークラブの人が「勉強はしないで楽しくゲームをします」と言った時はびっくりしました。
- ・最初はいろんな言葉と話していて、何を言ってるか分からなかったけどその後分かった。
- ・イエッピーさん（韓国のインターン生）の国での小学校は、ぼうしは被らない、カバンは自由であることとか、その国のきまりの違いが分かった。また、韓国の事を教えてもらい、韓国に行きたくなった。
- ・イエッピーさんから韓国の学校給食を写真で説明してくれて違いが分かった。
- ・一番目にやったゲームで色当てゲームは難しかった。
- ・二番目のゲームはゴキブリジャンケンで変な名前だが一番楽しかった。「ガイ・ハイ・ポ」のくり返して、ゴキブリから神様までジャンケンで勝ち抜いていくゲームでした。
- ・三番目の「何人で集まるゲーム」はすごく楽しかった。

【担当の先生から】

- ・いろいろな国の言葉話すことを通して、コミュニケーション能力の幅を広げて、意欲や関心を持たせてくれた。また生徒達も楽しみながら興味をもって活動し、楽しみながら行動していた。
- ・感想の中で「分からないと思っていたけれど、なんとなく分かって、もっと知りたいと思った」というものが多くあり、興味をもつきっかけになっていた。